

松戸市障害者計画策定のためのアンケート調査

～調査ご協力のお願い～

日頃より本市行政運営に関し、より市政へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、松戸市では、今後の障害者施策の推進を図るため、現行の障害者計画を見直し、令和3年度からの新たな計画策定に向けて準備をしております。

このアンケート調査は、新たな計画に市民の皆様のご意見を反映させるためのもので、令和〇〇年〇〇月〇〇日現在で、障害者手帳をお持ちか障害福祉サービスの対象となる難病などの方から2,000人、障害者手帳をお持ちでない方から1,000人を無作為に選び、アンケート調査を実施することといたしました。

調査は無記名で行い、結果は統計的に処理し、障害者施策を推進するためおよび次期計画策定のための基礎資料として活用しますので、個人が特定されたり、個別の回答を公表することはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をいただきますようご協力をお願いいたします。

令和〇〇年〇〇月

松戸市長 本郷谷 健次

○●ご記入にあたってのお願い●○

(調査票・返信用封筒には氏名を記入しないでください)

1. 質問文の中で「あなた」とある場合は、この調査票が送られたあて名の方（ご本人）をさしています。ご本人がお答えになれないときは、ご家族の方などがご本人の立場からご記入いただいてもかまいません。
2. お答えは、質問にしたがってあてはまる番号を○で囲むか、言葉や数字を記入してください。なお、答えたくないことなどは、無理にお答えいただかなくてもかまいません。
3. この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

松戸市役所 障害福祉課 電話：047-366-7348（直通）/FAX：047-366-7613
（土、日、祝日、年末年始除く 9：00～17：00）

E-mail：mcshougaihukushi@city.matsudo.chiba.jp

ご記入いただきました調査票は、お手数ですが〇〇月〇〇日（〇〇）までに、同封の返信用封筒に三つ折りにして封入し、ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。

※本調査は、令和元年〇〇月〇〇日現在で抽出しておりますので、行き違いとなりました際にはご容赦ください。

あなたのことについておたずねします。

問 1. あなたご自身のことについてお伺いします。お答えは、あてはまる番号に○印を付けてください。

①あなたの性別

1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 回答しない
-------	-------	--------	----------

②あなたの年齢(令和元年 月 日現在)

1. 10 歳代	3. 30 歳代	5. 50 歳代	7. 70 歳
2. 20 歳代	4. 40 歳代	6. 60 歳代	8. 80 歳以上

③あなたの職業（兼業の方はおもな職業に○をつけてください）

1. 会社員・公務員・団体職員など（勤め人）
2. 自営業・自由業・会社経営（商店などの家族従事者を含む）
3. 農 業
4. パート・アルバイト、臨時雇い、内職
5. 学 生
6. 専業主婦（主夫）
7. 無職
8. その他 []

④あなたのお住まいの地域（１つに○）

<u>ア行</u> 1 秋山 2 旭町 3 岩瀬 4 大金平 5 大橋 6 大谷口 7 大谷口新田	<u>サ行</u> 35 栄町 36 栄町西 37 七右衛門新田 38 下矢切 39 新作 40 新松戸 41 新松戸北	69 西馬橋広手町 70 二十世紀が丘 柿の木町 71 二十世紀が丘 戸山町 72 二十世紀が丘 中松町 73 二十世紀が丘 梨元町	<u>マ行</u> 90 牧の原 91 松戸 92 松戸新田 93 松飛台 94 馬橋 95 三ヶ月 96 緑ヶ丘 97 南花島 98 南花島中町 99 南花島向町
<u>カ行</u> 8 上総内 9 金ヶ作 10 紙敷 11 上本郷 12 上矢切 13 河原塚 14 北松戸 15 串崎新田 16 串崎南町 17 久保平賀 18 栗ヶ沢 19 栗山 20 幸田 21 幸谷 22 古ヶ崎 23 小金 24 小金上総町	42 新松戸東 43 新松戸南 44 千駄堀 45 外河原 <u>タ行</u> 46 高塚新田 47 高柳 48 高柳新田 49 竹ヶ花 50 竹ヶ花西町 51 田中新田 52 常盤平 53 常盤平陣屋前 54 常盤平西窪町 55 常盤平双葉町 56 常盤平松葉町 57 常盤平柳町 58 殿平賀	74 二十世紀が丘 萩町 75 二十世紀が丘 丸山町 76 二十世紀が丘 美野里町 77 根木内 78 根本 79 野菊野 <u>ハ行</u> 80 ハヶ崎 81 ハヶ崎緑町 82 東平賀 83 東松戸 84 日暮 85 樋野口 86 平賀	100 稔台 101 三矢小台 102 六実 103 主水新田 <u>ヤ行</u> 104 横須賀 105 吉井町 <u>ラ行</u> 106 六高台 107 六高台西
25 小金 きよしヶ丘 26 小金清志町 27 小金原 28 小根本 29 小山 30 胡録台 31 五香 32 五香西 33 五香南 34 五香六実	<u>ナ行</u> 59 仲井町 60 中金杉 61 中根 62 中根長津町 63 中矢切 64 中和倉 65 西馬橋 66 西馬橋相川町 67 西馬橋蔵元町 68 西馬橋幸町	87 ニツ木 88 ニツ木二葉町 89 本町	<u>ワ行</u> 108 和名ヶ谷

障害のある人との交流などについておたずねします。

問2. あなたは、今までに障害のある人と日常生活の中でふれあう機会がありましたか。(どちらかに○)

*ここで「障害のある人」とは、身体障害者、知的障害者、精神障害者(発達障害を含む)、その他の心身の機能の障害があり、障害および社会的障壁によって継続的に日常生活や社会生活に相当な制限を受ける状態にある人(いわゆる難病者)、障害児のことを言います。

1. ある

2. ない



問4にお進みください

問3. 問2で「1. ある」と回答した方にお伺いします。そのきっかけはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 家族や親戚に障害のある人がいる・いた | 5. 学校で一緒に勉強している・した |
| 2. 友人や知人に障害のある人がいる・いた | 6. 職場で一緒に働いている・働いた |
| 3. 近所に障害のある人がいる・いた | 7. ボランティア活動などで知り合った |
| 4. 地域の行事などで知り合った | 8. その他 () |

問4. 問2で「2. ない」と回答した方におたずねします。あなたは今後、機会があれば障害のある人と交流してみたいと思う場面で、あてはまるものに○印をつけてください。(2つまでに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 障害のある人が開く演劇やコンサートなどに行く |
| 2. 障害者団体などが開くバザーなどに行く |
| 3. 障害のある人のスポーツ活動やレクリエーション活動に参加する |
| 4. ボランティア活動に参加する |
| 5. 身近にいる障害のある人に対して、できる範囲で手助けする |
| 6. その他 () |
| 7. わからない |
| 8. 交流したいとは思わない |

問5. 最近、テレビの番組やニュース、新聞などで障害のある人の生活や障害のある人が自立しやすいまちづくりなどの話題が取り上げられています。あなたは、そのような障害のある人に関する番組やニュースなどに、関心をお持ちですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. きわめて関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. ほとんど関心がない |

問6. 「社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、住民一人ひとりが地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めあうことができる社会」のことを「地域共生社会」と言います。あなたは、この言葉を知っていましたか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|----------------|
| 1. 内容まで知っていた | 2. 言葉だけは知っていた | 3. この問いで初めて知った |
|--------------|---------------|----------------|

問 7. あなたは、次にあげる障害者施策や福祉施策の用語をご存知ですか。（知っているものすべてに○）

1. 点字ブロック	11. 発達障害(自閉症スペクトラム障害、注意欠陥・多動性障害、学習障害)
2. 手話、要約筆記	12. 成年後見制度
3. 身体障害者補助犬 （盲導犬・介助犬・聴導犬）	13. 特別支援学校
4. パラリンピック	14. 特別支援学級
5. 身体障害者手帳	15. 障害者差別解消法
6. 療育手帳	16. ヘルプマーク
7. 精神障害者保健福祉手帳	17. NET119 緊急通報システム
8. 障害者週間	18. 医療的ケア児
9. バリアフリー	19. ライフサポートファイル
10. 障害者虐待防止法	20. 8050 問題

問 8. あなたは、地域社会の中に障害のある人への差別・偏見があると思いますか。（それぞれ1つずつに○）

(1) 身体障害者に対して	→	1. ある	2. ない	3. わからない
(2) 知的障害者に対して	→	1. ある	2. ない	3. わからない
(3) 精神障害者(発達障害を含む)に対して	→	1. ある	2. ない	3. わからない
(4) 難病者に対して	→	1. ある	2. ない	3. わからない
(5) 障害児に対して	→	1. ある	2. ない	3. わからない

問 9. 問 8 で 1 つでも「1. ある」と回答した方にお伺いします。差別・偏見の生まれる理由は何であると思いますか。（2 つまでに○）

1. 障害者のことがよく理解されていないこと	
2. 幼い頃から障害者とふれあう機会がないこと	
3. 施設や社会の仕組みが障害者に配慮されていないこと	
4. 障害のある人を守るという精神が社会に育っていないこと	
5. 弱い立場にある人を軽んじる風潮があること	
6. その他（	）

問 10. 問 8 で 1 つでも「1. ある」と回答した方におたずねします。ここ数年、障害のある人たちに対する理解は深まってきていると思いますか。（1 つに○）

1. かなり深まってきている	4. まったく深まっていない
2. ある程度深まってきている	5. 判断できない・わからない
3. あまり深まっていない	

障害者相談支援についておたずねします。

問 11. 松戸市では、平成 24 年度から、障害に関する地域の相談支援の拠点として「基幹相談支援センターＣｏＣｏ」を設置しています。あなたは、「基幹相談支援センターＣｏＣｏ」を知っていますか。（１つに○）

- | |
|---|
| 1. 知っており、利用している（利用したことがある）
2. 知っているが、利用したことはない
3. 今まで知らなかった |
|---|

問 12. 松戸市では、平成 27 年度から、福祉サービスの利用、生活の困りごと、福祉分野の情報提供を専門の相談員が支援する「ふれあい相談室」を設置しています。あなたは、「ふれあい相談室」を知っていますか。（１つに○）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 13. 松戸市では、高齢者総合相談窓口を拡充し、平成 30 年度から「福祉まるごと相談窓口」を設置しています。福祉に関する困りごと（ダブルケアの相談・サービスや制度を知りたい・どこに相談してよいかわからないなど）の相談窓口です。専門職が一緒に考え、必要なサービスを紹介したり、担当の課におつなぎしています。あなたは、「福祉まるごと相談窓口」を知っていますか。（１つに○）

- | |
|---|
| 1. 知っており、利用している（利用したことがある）
2. 知っているが、利用したことはない
3. 今まで知らなかった |
|---|

問 14. 障害者虐待防止法では、家族、施設の職員、雇用主から障害者が虐待を受けていることに気づいた人は、市の窓口に通報することが義務付けられています。松戸市の通報窓口は、「障害者虐待防止・障害者差別相談センター」です。あなたは、「障害者虐待に気付いた人の通報義務」について知っていますか。（１つに○）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 15. 松戸市では、相談窓口として障害者虐待防止センターの設置、有識者を委員とする障害者虐待防止ネットワークの設立、事業所向け研修会や市民向け講演会を開催するなど、障害者虐待防止に積極的に取り組んでいます。障害者虐待の防止をさらに推進するために、どのようなことをすればよいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

- | |
|---|
| 1. 市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
2. 児童虐待や高齢者虐待の防止のための取組みと、一体となって取組を行う
3. 地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組を推進する
4. 市民向けの講演会など、啓発活動をもっと充実させる
5. 虐待の通報先をもっと広報する
6. 虐待防止に関わる市や事業所の職員の人材育成にもっと取り組む
7. その他（
8. わからない |
|---|

問 16. 国や地方自治体が主たる責任を持って行っている、児童福祉や障害者福祉に代表されるような「公的福祉」の提供と、それを金銭的に支える税金や社会保険料、サービス料金などの「国民負担」とのバランスのあり方について、あなたのご意見に最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 国民の負担をもっと軽くして、公的福祉は必要最小限にしぼるべきである
2. 国民の負担が今より重くなっても、それに見合うだけの公的福祉をもっと充実すべきである
3. 現状を維持すべきである
4. その他()
5. わからない

地域での福祉活動についておたずねします。

問 17. あなたは、今後、障害のある人の支援について、誰が主体になって取り組むのが望ましいとお考えですか。3つまで選び、重要と思う順番に「1」「2」「3」の数字を入れてください。

↓ (重要と思う順に「1」「2」「3」の数字を入れてください。)

	1. 障害当事者（障害者本人やその家族、親族）
	2. 行政
	3. 隣近所の人
	4. 友人・知人
	5. ボランティア
	6. 障害福祉サービス事業所
	7. その他()

問18. あなたは福祉を充実させるために、地域でどのようなことをしたいと思いますか。(1つに○)

1. 施設や地域でのボランティア活動に参加したい
2. 専門的な資格を取り、職業として福祉に関わりたい
3. ボランティア活動に参加することは難しいが、援助が必要な友人や知人などにできる限りのことをしたい
4. 福祉活動の資金を援助したい(募金や寄付など)
5. 自分のことで手一杯なので、今のところは何もできない
6. 地域での福祉活動に関心がない
7. その他()

問 19. 現在、あなたは障害のある人やお年寄りなどのためのボランティア活動に参加していますか、または、参加したことがありますか。(1つに○)

1. 現在参加している

2. 過去に参加したことがあるが、現在は参加していない

3. 今までまったく参加したことはない

問 21 にお進みください

→ 問 20. 問 19 で「1. 現在参加している」と回答した方におたずねします。それはどのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 声をかけたり様子を見る

8. 郵便局、市役所などへの用事の代行

2. 話し相手になる

9. 留守番

3. 外出の時の付き添いや送迎

10. 趣味やスポーツなどの指導・介助

4. 手紙の代読や広報紙・本などの朗読

11. 福祉団体の行う行事などの手伝い

5. 点訳や手話通訳・要約筆記

12. 福祉施設の手伝い

6. 家事や買い物

13. その他()

7. 身体介助(入浴介助を含む)

問 21. 問 19 で「2. 過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」または「3. 今までまったく参加したことはない」と回答した方におたずねします。あなたが参加していない主な理由は何ですか。(3つまでに○)

1. ボランティア活動が嫌いだから

2. 面倒だし、わずらわしいから

3. 近くにそのような活動をしている人や団体がないから

4. 参加するきっかけがないから

5. 仕事や家事などが忙しく、時間がないから

6. 他の種類のボランティア活動に参加しているから

7. 障害のある人などが、けがや事故にあった時に責任を負えないから

8. 障害のある人などとのコミュニケーションに不安があるから

9. どうすれば参加できるのか、手順や相談相手がわからないから

10. いつ、どこで、何をやっているのか、情報が得られないから

11. 役員にされたり、金銭的な負担をしたりするのがいやだから

12. 参加しても自分や自分の家族にとって何のメリットもないから

13. その他()

14. 特にこれといった理由はない

問 22. 地域での助け合いやボランティア活動を活発にするためには、どのようなことが必要であると思いますか。(3つまでに○)

1. 援助が必要な人、援助をしたい人のための相談体制・情報の充実
2. ボランティア団体の活動内容などの情報提供の充実
3. ボランティア体験などの参加機会の提供
4. ボランティアの知識・技術に関する講習会の開催
5. 活動拠点の提供や活動資金の助成
6. 地域活動やボランティアのリーダーの育成
7. 町会・自治会などの地域活動の活性化
8. その他 ()
9. わからない

問 23. 障害や高齢化などにより判断能力が十分でない方の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。

1. どのような制度か知っている
2. 制度について聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない
3. 全く知らない

問 24. 専門協力員（弁護士、司法書士、社会福祉士など）とペアを組んで、法人後見をボランティアで活動いただく「市民後見協力員」について、現在、松戸市で養成講座を実施しております。この制度または講座について、知っていますか。また、今後ご参加いただけますか。

1. 知っており、現在市民後見協力員として活動している
2. 知っており、今後参加したい
3. 知っているが、参加する予定はない
4. 知らない

問 25. 市民後見協力員を増やしていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(一番重要だと思うものに○)

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1. 周知・広報 | 3. 報酬の保障（ボランティアでは難しい） |
| 2. 相談できる窓口 | 4. その他 () |

福祉のまちづくりについておたずねします。

問26. 「公共施設や道路、交通機関などといった生活環境を改善し、障害のある人やお年寄り、子どもなどが移動しやすく、社会参加しやすいようなまちづくりを進めよう」(＝「バリアフリー」のまちづくり)という考え方や動きが各地で見られるようになりました。

このようなまちづくりの考え方について、どのように思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 積極的に進めるべきだ | 3. 現状のままでやむを得ない |
| 2. できることから改善すればよい | 4. 判断できない・わからない |

問27. 市内の公共施設や道路、交通機関について、障害のある人やお年寄り、子どもなどのために改善する必要があると思うのはどのような点ですか。(3つまでに○)

- | |
|---|
| 1. 歩道の設置・歩道の拡幅 |
| 2. 道路の段差解消 |
| 3. 点字ブロック・音声式信号機の導入 |
| 4. 多目的トイレの設置(車いすで使用できる広さや手すりがある、オストメイト対応の設備があるなど) |
| 5. 障害者用駐車場(スペース)の設置 |
| 6. 施設出入り口のスロープ化や拡幅、自動ドア化など |
| 7. エレベーター・エスカレーターの設置 |
| 8. 廊下・階段の拡幅・手すりの設置 |
| 9. リフト付低床バスの導入 |
| 10. わかりやすい案内板や表示 |
| 11. その他() |
| 12. 特にない・わからない |

障害のある人への福祉についておたずねします。

問 28. 障害のある人のために、市はどのようなことに力を入れる必要があると思いますか。
(5つまでに○)

1. 在宅福祉の充実(ホームヘルパーの派遣やショートステイなどの福祉サービス)
2. 総合的な相談窓口の整備、情報の提供
3. 訪問看護や訪問指導の充実
4. リハビリテーションの充実
5. 精神保健医療体制の整備
6. 障害の予防、早期発見、保健指導体制の充実
7. 早期療育体制の充実
8. 就労の援助や雇用の促進
9. 障害のある人がスポーツや趣味を楽しむ機会や場の確保
10. 障害のある人に配慮した公共施設や交通機関、道路、住宅などの改善
11. 障害のある人に配慮した公園・公園施設の整備
12. 障害のある人のための防災体制の確立
13. 障害のある人への経済的支援の充実
14. 障害や障害のある人に対する差別・偏見をなくすための啓発活動
15. 障害のある人との交流の促進
16. 障害のある人のコミュニケーションを支援する施策(手話通訳・要約筆記など)の充実
17. 地域での助け合いやボランティア活動への支援
18. 障害者(児)福祉施設の整備
19. 障害者の権利を擁護するための施策の推進
20. その他()
21. 特にない・わからない

「手話」についておたずねします。

問 29. あなたは「手話」ということばを知っていますか。(1つに○)

- 1. 知っているし、日常的に使っている
- 2. 知っているし、挨拶など簡単な手話なら使うことができる
- 3. 知っているが、使えない
- 4. 知らない

問 30. 問 29 にて「1. 知っているし、日常的に使っている」「2. 知っているし、挨拶など簡単な手話なら使うことができる」「3. 知っているが、使えない」と回答した方にお伺いします。「手話」を知ったきっかけは何ですか？(1つに○)

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. テレビ(ドラマ、ニュースなど) | 4. 職場 |
| 2. イベント(講演会など) | 5. 病院 |
| 3. 学校・サークル活動 | 6. その他() |

問 31. 問 29 にて「1. 知っているし、日常的に使っている」「2. 知っているし、挨拶など簡単な手話なら使うことができる」と回答した方にお伺いします。実際に手話を使って良かったと思えたことがあれば教えてください。

(ご自由にお書きください。)

問 32. あなたはコミュニケーションの手段として手話を使ってみたいと思いますか。(1つに○)

- 1. 積極的に手話を学んで使いたい
- 2. 必要とする場面があれば使いたい
- 3. 使いたくない

問 33. 問 32 にて「1. 積極的に学んで使いたい」と回答した方にお伺いします。どのような理由・場面で手話を使ってみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 親族との会話 | 5. ボランティア・サークル活動 |
| 2. 友人・知人などとの会話 | 6. 手話通訳者として |
| 3. 学校・職場 | 7. その他() |
| 4. 買い物、病院など出先での支援 | |

問 34. 最後に、今までお伺いしたことの他に、ご意見・ご要望・ご感想などがありましたら、お聞かせください。

(ご自由にお書きください。)

質問は以上で終わりです。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、 月 日()までに同封の返信用封筒に三つ折りにして封入し、ポストに投函くださいますようお願いいたします。

切手を貼る必要はありません。